

特定非営利活動法人

Newsletter

介護の社会化を進める

MIYAGI

一万人市民委員会宮城県民の会

第149号

【令和6年4月1日】

※※※※※※ 発行人 ※※※※※※

特定非営利活動法人

介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
代表理事 佐藤 年夫



支え合う地域を目指して

副代表理事 大坪 俊男

私たちを取り巻く生活環境は少子高齢化による人口減少社会の到来で、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみ世帯が増加する等、社会構造の変化と共に地域との繋がりはますます希薄化しており、在宅生活が一層困難になることが予想されます。

また、日々の暮らしの中で支援を必要としているのは高齢者だけではなく、よく耳にする「子育てと親の世話や介護を同時に担うダブルケア」や「子供や若い人が親、祖父母等の介護を担うヤングケアラー」への支援体制など、様々な課題も浮き彫りになっています。

このように少子高齢化社会を取り巻く環境は、様々な課題を抱えており、他人ごとではなく「自分ごと」として考え、時には支え、時には支えられる関係づくりを築き、地域住民で解決していくことが求められています。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護や認知症になっても「住み慣れた地域で元気で生き生きと自分らしい暮らし」が出来るよう、医療・介護・予防・生活支援等が一体的に確保される地域包括ケアシステムの役割が重要であります。

多様な生活課題に対応するためには、地域住民がお互いの暮らしに関心を持ちながら支え合うことは、決して特別なことではなく、隣近所とのお付き合いの中で今も残る「お互いさま・おかげさま」の延長線上にあると思います。また、地域活動に参加することは、暮らしの中の充実感や生きがいにつながるのではないのでしょうか。

このことを踏まえ、私たちは生活支援体制整備事業に基づき、住み慣れた地域が「こうなったらいいよね」との思いで、「石巻市釜・大街道地区第2層協議体」を立ち上げ3年が経過しました。

わくわく通信による情報発信や介護予防教室、小学校児童による敬老の日お祝いメッセージの配布、中学生による高齢者への年賀状の配布等の活動は、地域住民や関係機関から評価され、世代間双方型交流等を通して地域支え合い活動の輪が広がりつつあります。

石巻市や社会福祉協議会、山下地域包括支援センター、町内会、民生委員、介護事業所、学校などと連携を図り、子どもから高齢者まで一体となり、メンバーと共に笑顔と思いやりの心で感謝を忘れず、楽しみながら地域支え合い活動に取り組んでいます。

2024 年度介護報酬改定について

2024 年(令和 6 年)度の介護報酬改定率は「+1.59%」になりました。

内訳は介護職員の処遇改善分が「+0.98%」で、残りの「+0.61%」は介護事業者の経営基盤の強化などの介護職員以外の処遇改善分の割合となっています。

また、処遇改善加算の一本化による賃上げ効果や光熱費の基準費用額の増額による介護施設の増収効果として「+0.45%」が見込まれ、合計で「+2.04%」の改定となり、人材確保の困難が叫ばれる介護現場にとっては嬉しいものとなるようです。

改定の施行日は 4 月と 6 月に分かれ、6 月が 4 種別(・訪問看護・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション・居宅療養管理指導)で、それ以外のサービスは、4 月施行となっています。

介護報酬改定のポイントは以下の 4 項目です。

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

- ①質の高い公正中立なケアマネジメント
- ②地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組み
- ③医療と介護の連携の推進
- ④看取りへの対応強化
- ⑤感染症や災害への対応力向上
- ⑥高齢者虐待防止の推進

- ⑦認知症の対応力向上
- ⑧福祉用具貸与・特定福祉用具販売の見直し
2. 自立支援・重度化防止に向けた対応
 - ①リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取り組み
 - ②自立支援・重度化防止に係る取り組み推進
 - ③「LIFE」を活用した質の高い介護
3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
 - ①介護職員の処遇改善
 - ②生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり
 - ③効率的なサービス提供の推進
4. 制度の安定性・持続可能性の確保
 - ①評価の適正化・重点化
 - ②報酬の整理・簡素化
5. その他審議が行われた項目
 - ①「書面掲示」の規制見直し
 - ②特別地域加算対象地域の明確化
 - ③対象地域の見直し
 - ④高齢者虐待防止措置及び業務継続計画策定に係る経過措置期間の延長
 - ⑤通所系サービスにおける送迎に係る取り扱いの明確化
 - ⑥看護小規模多機能型居宅介護におけるサービス内容の明確化
 - ⑦基準費用額(居住費)の見直し

～ 『なんでも相談会』の開催方法(5月以降)の変更について ～

当会の顧問である武田弁護士、安田司法書士を相談役にお迎えして2013年から毎月1回開催しております「なんでも相談会」について、5月以降の開催は下記の手順での開催となりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

<5月以降の開催方法>

- ① 皆様からご相談希望日時を事務局(鹿又)に連絡(日時は第 3 希望程度まで伺います)
- ② 事務局が顧問のご都合を伺い、日時を決定し、相談者に通知、開催します。
なお、先に周知しております「なんでも相談会」は予定通り開催しますので事務局までお申し込み下さい。

＜フォローアップ研修模様＞

～第2回地域密着型サービス外部評価フォローアップ研修会報告～

去る2月9日(金)13時30分から仙台市生涯学習支援センター会議室において、19名の調査員が参加して第2回地域密着型サービス外部評価フォローアップ研修会が開催されました。

開会の挨拶に続き、代表理事の挨拶(代読)ではコロナ5類移行後の全面訪問調査に伴う調査員への慰労と、今年度の全調査完遂への協力依頼の言葉がありました。

議題に移り、評価委員のリードで6名一組に分かれてグループワークを行い、「理念の共有と実践」や「運営推進会議を活かした取組み」等、評価3項目の捉え方や聞き取りの仕方等についてグループ討議を行い、9項目の討議結果発表と意見交換で調査員としてのポイントを相互確認し合いました。

続いて外部評価調査実施の流れ、調査報告書の記入語句事例の説明、評

価項目と質問内容の考え方等について説明を行い、調査員間の意識統一を図りました。

最後に、以前「外部評価調査員フィードバック」で提出された『重度化や終末期に向けた支援』に対する宮城県長寿社会政策課からの回答内容と、令和6年度宮城県主催の地域密着型サービス外部評価フォローアップ研修会予定時期の説明を行い、全議題を終了しました。

今回の研修で調査員としての資質向上に繋がり、地域密着型サービス外部評価の知識を再認識することができ、有意義な研修会となりました。

◆◇なんでも相談会のご案内◇◆

☆開催日程

* 4月16日(火) 相談役 武田 貴志 弁護士

＜第5回理事会模様＞

2月29日(金)仙台市生涯学習支援センター第一セミナー室Aに於いて開催されました。議題は下記のとおりです。(14/16出席)

- ・各事業項目進捗状況報告並びに審議
- ①介護サービス情報の公表調査活動
- ②みやぎ介護人材認証制度(第2段階)確認調査活動
- ③地域密着型サービス外部評価活動
- ④福祉サービス第三者評価活動
- ⑤なんでも相談、会員支え合い活動、広報(ニュースレター)活動
- ⑥財務状況、事務局

＜詳細は事務所のファイルで閲覧下さい。＞



素晴らしきめぐり逢い

会 員 加 藤 仁

今年度より調査員のお仲間に入れて頂いた加藤です。
とかくリタイヤ後の男はパートナーから「ぬれ落ち葉」などと言われる事が多いようですが、私は幸いにも好奇心の塊のようで現役の時から色々楽しく過ごしています。

私は趣味特技を問われると書道、DIY、和裁、着物、国内外の旅、料理、蕎麦打ち、スポーツジム等と答えていますが、世に名前が出るとか人に提供出来る程の卓越した趣味でも無く、あくまで一人で楽しむ程度で、その中で一番長いのが「仮名書道」です。



書道は20代の半ばに職場以外の世界が欲しいと漠然と考え、仕事のリタイヤ後でも楽しめそうだったことと、本名以外の名前「雅号」がある世界に憧れたことから始まり、仮名を始めたのは、最初に教えを頂いた先生が得意だったことが原点でした。当初思い描いた「雅号」や「師範の格」は思ったほどの事ありませんでしたが、この世界のお付き合いも広がり、仕事以外で確実に広がったことが人生の彩りになっています。

書道には漢字や仮名、近代詩、小字、墨象等他にも多くあり、漢字の中には楷書や行書、草書、隸書、篆書とまた多数あります。その中でも私が大好きで主に楽しんでいるのが「仮名書道」で、雅であり、艶やかな料紙に書く仮名は「変体かな」を取り混ぜ用紙に散らして構成する楽しみがあります。「い」は「井」や「以」を崩して書いたりします。

良き師に出会い、教えを請い、技術のみならず人格や生き方や考え方もご指導頂けたのは、私の人生で素晴らしい巡り合いだったと思っています。

今、小さな教室で指導させて頂けるのも良き師と良き生徒さんのお蔭で、手本を書く事で自身の勉強をさせて頂ける事に感謝しつつ筆を持っています。

【 ～ ～ ～ 編 集 後 記 ～ ～ ～ 】

暖冬の影響で今春は、桜の開花が早まりそうだ。毎年、仲間と時には一人でお花見ランをして、春を満喫している。

1200本の桜のトンネル、大河原の白石川堤一目千本桜。仙台駄菓子老舗石橋屋(若林区)跡地の、隣を流れる七郷堀へ垂れ下がる枝垂桜。

48種バリエーション豊かな桜の木が、750本ある三神峯公園(太白区)。鹽竈桜が、国の天然記念物に指定されている鹽竈神社…

今年はどこを巡ろうか咲き誇る桜に思いを馳せて、開花宣言や桜の便りを心待ちにしている。

(出口 香)



特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
一万人市民委員会宮城県民の会

編集委員 遠藤 千代 兼平 幸雄 工藤 俊廣
曾根 務 出口 香